

第 27 回白馬村ソフトボール選手権大会要項

- 1 主 催 白馬村スポーツ協会
- 2 協 力 長野県ソフトボール協会中信支部白馬地区会 白馬村ソフトボール連盟
- 3 後 援 白馬村 白馬村教育委員会
- 4 大会日時 令和 8 年 1 0 月 1 2 日（祝・月） 雨天中止
※雨天中止の場合朝 6 時～6 時 3 0 分の間に各チームの監督に連絡
開会式 午前 8 時 0 0 分 （村営北部グラウンド）
試合開始予定 午前 9 時
- 5 会 場 村営北部グラウンド
- 6 出場資格 高校生以上の白馬村在住、在勤者 但し、白馬村ソフトボール連盟登録者はこの限りではない。
- 7 チーム編成 監督 1 名 選手 2 5 名以内（但し、県軟式野球連盟登録者は 1 チーム 3 名以内とする）
※監督が選手を兼ねる場合は、選手としても登録しなければならない。
- 8 参加申込 申込書により、令和 8 年 9 月 24 日（木曜日）午後 5 時迄に、協和ウイング白馬内
白馬村スポーツ協会事務局（TEL 7 2-8 7 7 0）へ申し込むこと。（受付時間：平日午前 9 時～午後 5 時）
- 9 参 加 料 1 チーム 4, 0 0 0 円（監督会議の受付時にスポーツ協会事務局へ納入）
- 10 監督会議 令和 8 年 1 0 月 6 日（火曜日）午後 6 時 3 0 分から協和ウイング白馬 2 階会議室にて行う。（別途通知はしない。）※監督会議以降の選手変更は認めない。
- 11 試合方法
 - 1）試合方式はトーナメント戦方式とするが、チーム数によってはリーグ戦方式、又は併用を採用することができる。
 - 2）試合イニングは 7 回、または 6 0 分（決勝は 7 0 分）とし、6 0 分（7 0 分）経過して新しいイニングに入らない。
 - 3）7 回終了時または 6 0 分（7 0 分）経過して同点の場合は、タイブレーク 1 イニングで勝敗を決める。タイブレークで決着がつかない場合は最終出場選手 9 名によるジャンケンを行い、5 人先取を勝者とする。
 - 4）リーグ戦採用時、複数チームの勝敗が並んだ場合、総失点が小さいチームを上位とし、総失点と同じ場合は得失点率差が大きいチームを上位とする。
※得失点率差＝得点率（総得点/総攻撃イニング数）－失点率（総失点/総守備イニング数）
 - 5）コールドゲームは 3 回以降毎回とし、得点差コールドゲームは、3 回 1 5 点、4 回 1 0 点、5 回以降 7 点差が生じた時とする。
 - 6）試合は 2 0 2 6 年度 JSA オフィシャルルール及び本大会申し合わせ事項による。
 - 7）試合中、抗議できるのは監督のみである。
 - 8）試合開始 5 分前にチーム編成ができないチームは、没収試合とする。
過失のないチームが 7 対 0（攻撃イニング、守備イニング数とも「7」）で勝者とする。
 - 9）試合中、打者・打者走者・走者・次打者はヘルメットを着用する。捕手は、スロートガード付きのマスクとヘルメット・レガースを着用する。また、準備投球時の捕手は、スロートガード付きのマスクとヘルメットを着用する。なお、ベースコーチはヘルメット着用することが望ましい。
 - 10）対戦番号の若いチームを一塁側とする。
 - 11）服装は原則として同一ユニフォームとする。異なる場合は監督会議時に了承を得る。
 - 12）メンバー表は、試合前に本部へ 3 部提出すること。
 - 13）試合開始以降、雨天等により中断が生じた場合は、判断をスポーツ協会事務局に一任する。
 - 14）ベースは固定、ホームランラインを 70m にて設ける。
- 12 表 彰 1 位～3 位のチームに賞状を授与する。
- 13 そ の 他
 - 1）各チーム 7 名の審判員、記録員を出すこと。
※ 1 回戦の塁審は抽選とし、以後は負けチームが行う。（塁審は選手と区別のできる服装で行うこと。）
 - 2）グラウンド整備は当日 7 時 0 0 分より、各チーム 2 名ずつ出席すること。小雨の場合もグラウンドに集合し、審判員・事務局の指示に従う。
 - 3）大会中の怪我は応急処置のみとし、以降の責任は負わない。
 - 4）試合終了後のグラウンド整備・清掃・片付けは両チームで行う。
 - 5）試合ボールは事務局で用意する。